



平成26年12月16日

国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所

静岡県清水港管理局

駐横浜大韓民国総領事館が清水港を視察 ～清水港を取り巻く経済・行政関係者と意見交換～

1. 概要：

平成26年12月10日(水)に駐横浜大韓民国総領事館の趙宰顯（ジョ・ジョヒョン）領事と朴秀姫（パク・スヒ）専門官が清水港を訪れ、清水港の視察と経済・行政関係者との意見交換が行われました。

今回の清水港訪問は、去る10月29日に東京で行われた清水港セミナー（主催：清水港ポートセールス実行委員会）での関係者との交流がきっかけとなりました。

清水港管理局では、原隆一清水港管理局長から静岡県と清水港の概要について説明を受けた後、清水港湾事務所港湾業務艇「まさき」に乗船して清水港の視察を行いました。

船上では、加賀谷俊和清水港湾事務所長から清水港の果たす役割や港内施設と港内立地企業の状況、コンテナターミナルの整備状況などについて説明を受けました。また、日本での先進的な景観の取り組み事例である「清水港みなと色彩計画」についても説明がされました。

趙領事は、静岡市に10回ほど訪れているものの、清水港視察は初めてで、その活発な意見交換から清水港への関心の高さが感じられました。また、午後からは経済関係者との意見交換も行われ、清水港利用促進協会から「来年の日韓国交50周年の節目に韓国でポートセールスをしたい」との語りかけに対し、「日韓の経済交流の拡大にぜひ貢献したい」と語られるなど、今後の清水港の発展につながる清水港の視察になったと考えます。

2. 日時及び場所

日時：平成26年12月10日(水)

9：45～10：30 静岡県と清水港の概要説明と意見交換

10：30～11：30 清水港の船上視察

13：00～13：50 清水港の経済・行政関係者との意見交換

場所：清水マリビル3F 清水港管理局局長室（概要説明と意見交換）

清水マリビル5F 会議室（経済・行政関係者との意見交換）

3. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ
静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

4. 問合せ先：

静岡県交通基盤部 清水港管理局 企画振興課長 三坂（みさか）

電話054—353—2203

国土交通省中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課長 野村（のむら）

電話054—352—4148

5. 視察と意見交換の様子



清水港概要説明の様子



港内視察の様子(1)



港内視察の様子(2)